

# 臨時農業生産情報

(少雨と高温に対する技術対策)

令和元年7月30日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表（令和元年7月30日14時00分）「少雨と高温に関する青森県気象情報第1号」によると、青森県では、7月上旬から降水量が少なく、7月下旬から気温の高い状態が続いています。この状態は、今後10日間程度続く見込みです。

今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、農作物の適正な管理に努めてください。

## 1 水 稲

- (1) 出穂・開花期は、稲が最も水を必要とする時期になるので、開花・受精に支障がないよう入水する。用水が不足している場合でも、田面が乾かない程度にかん水し、可能な限り湿った状態を保つ。
- (2) 出穂後6～10日の期間に高温になると、胴割米などが発生し品質が低下しやすくなるので、開花が終了した水田では、水の入替えなどで水温の上昇を防ぐ。
- (3) 水不足が予想される地域では、輪番取水制の実施等により、計画的な用水利用に努める。また、排水路の水が再利用可能な地域では、必要に応じてポンプ揚水等を行い、効率的な水利用に努める。
- (4) 斑点米カメムシ類の適期防除を徹底する。

## 2 畑作・野菜・花き

- (1) 転作大豆では、ほ場が乾燥している場合は、うね間かん水を行う。
- (2) ハウス等施設栽培では、換気や遮光資材などによる温度管理を徹底する。
- (3) 野菜・花き類では、生育に応じた追肥とかん水を行い、草勢を維持する。また、収穫は、涼しい時間帯に行い、収穫物は直射日光が当たらないようにするなど鮮度保持に努める。
- (4) 野菜類のは種や定植はできるだけ夕方に行う。また、極端に乾燥しているほ場では、かん水後に行うか降雨を待って行う。
- (5) 高温・乾燥が続くと、ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類等の発生が多くなるので、早期発見、早期防除に努める。

### 3 りんご等果樹

- (1) りんご及びももでは、高温・晴天が続く場合は、日焼け果の発生を防ぐため、徒長枝の整理、支柱入れや枝つりなどを控える。
- (2) ハウスぶどうは、換気などによる温度管理を徹底する。
- (3) 苗木や若木は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を確認し、乾燥している場合は1 m<sup>2</sup>当たり20リットル程度をかん水する。
- (4) 草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草をする。

### 4 畜産

#### (1) 畜舎の防暑対策

- ア 窓を開放したり換気扇や送風機を利用して、舎内の風通しを良くする。
- イ 日除けの設置や屋根への散水等により舎内温度を下げる。

#### (2) 家畜の飼養管理

- ア 飼料給与は、朝・夕の涼しい時間帯に行うほか、給与回数を増やすことで乾物摂取量を高める。
- イ 新鮮な冷水を常に飲めるよう飲水環境を整える。
- ウ 乳用牛では特に、乳量や乳成分の低下を防ぐため、良質な一番草を給与し、ビタミンやミネラルの補給に努める。
- エ 種雄豚の交配は涼しい時間帯を選び、供用は週2回程度とする。
- オ 鶏は、夜間に給餌する方法も有効である。

#### (3) 放牧牛の管理

- ア 放牧は、木陰のある牧区を使い、ミネラルの補給を欠かさないようにするとともに、新鮮な冷水が常に飲めるようにする。
- イ 放牧牛の行動をよく観察し、異常牛の早期発見・早期治療に努める。

### 5 飼料作物

- (1) 草地の地温上昇や土壌の乾燥を防ぐため、
  - ア 牧草の刈取りは、10～15 cm程度の高刈りとする。
  - イ 放牧地では、過放牧を避ける。
- (2) 施肥は降雨を待って行う。
- (3) 干ばつ時には害虫が多発することもあるので、草地等の巡回により早期発見・早期防除に努める。

### 6 農作業（熱中症の予防）

- (1) 日中の暑い時間帯は作業を避けるとともに休憩をこまめにとる。
- (2) 通気性の良い作業着や帽子を着用し、汗で失われる水分や塩分を十分補給する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作振興グループ 総括主幹 腰巡好之 (畑作・野菜、花き) 農産園芸課野菜・畑作物振興グループ 総括主幹 大和山真一 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ 総括主幹 小松弘明 (畜産、飼料作物) 畜産課経営支援グループ 総括主幹 山田健司 (農作業) 構造政策課担い手育成グループ 総括主幹 長内秀揮
電話番号	(水稲) 直通 017-734-9480、内線 5073 (畑作・野菜、花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092 (畜産、飼料作物) 直通 017-734-9496、内線 4814 (農作業) 直通 017-734-9463、内線 5057
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 船水浩人 内線 4967

#### 【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。